

①学童保育所について②昭和認定こども園について

大垣 良夫 議員

問 ①学童保育所について、共働きなのに入所できない事例があるようですが、市の認識と今後の方向性について教えてください。②昭和認定こども園の運営が令和2年4月より(福)郡山双葉会に移行されていますが、現状と園舎建替など今後の予定についてお聞かせください。

答 ①学童保育所へ入所できない要因としては、施設の狭さと支援員の不足などが考えられます。今後は、施設整備とともに、児童の生活の場を確保するためにも運営協議会方式への移行を丁寧に進めます。②昭和こども園の定員は75名で、令和3年度の在園児数は69名です。園舎建替の完成は、令和7年3月末です。市としても、引き続き施設整備等に協力していきます。

①高齢者の外出支援について②保育園の待機児童について

上田 健二 議員

問 ①矢田地区で実施される高齢者の買い物などの外出支援で、私は「運転ボランティアを有償とするよう」求めてきたが、どうなるか。②保育士の採用枠を増やし、「隠れ待機児童」が令和2年度の221名から、令和3年度は145名に減ったとのことだが、今後の保育士確保は。

答 ①ボランティア活動の謝礼金が新たに交付金の対象となり、運転ボランティアの昼食代と謝礼金を実施団体への事業委託料120万円の一部として予算計上しました。②保育士の正規職員の応募者は98名、採用数が15名で競争率は約6.5倍でした。会計年度任用職員の給料は、地域手当を含み月額18万1,567円に引き上げました。引き続き保育士確保に努めていきます。

障がい者就労支援について

林 浩史 議員

問 障がい者の自立・就労支援として、障がい者施設からの物品調達の周知、販売促進についての取り組み、就労支援B型の工賃(奈良県平均16,058円)の値上げは障がい者の自立に向けて必要不可欠であるが、障がい者の更なる就労支援についての市の考えをお聞かせください。

答 障がい者の就労については、障がい者と企業との相互の理解がなければ進まないものと考えます。本市では、昭和工業団地等との連携は特に重要であり、今後、地域自立支援協議会を中心に、具体的な就労支援活動を通しての障がい者と企業のマッチング等、就労の促進に向けた取り組みについて、努力していきたいと考えます。

コロナ禍における支援と対策について

徳野 衆 議員

問 ①生活保護相談において、扶養照会をしてからでない申請あるいは保護決定ができないということはないか?また、同意無く照会文書が送られることはないか?②持続化給付金は所得税課税対象となるため住民税、国民健康保険税、介護保険料に影響するが、市の支援策は?

答 ①扶養照会を行ってからでないと保護の申請、決定ができないといったことはありません。生活保護の申請者に照会についての説明を行い、照会文書を提出していただくか、申請者同意のもとで文書の発送を行っております。②納付が困難であるという場合は、納付の猶予や分割納付の相談をさせていただきます。

2日目

子育て支援について

吉川 幸喜 議員

問 保護者の負担が問題となっている学童保育所の運営のあり方について、それらに対応するための運営協議会の設置を検討されているということですが、目的や現在までの協議の進捗状況、今後の見通しについてお聞かせください。

答 保護者の強い要望を受け、運営に係る負担を減らすため、現在の保護者会方式から運営協議会方式への移行を目指し、定期的に説明会を開催しています。第1回目は運営協議会設立の目的や今後のスケジュールについて、第2回目は運営協議会への加盟条件、運営形態及び体制について、第3回目は放課後児童クラブ設置・運営指針の一部(案)を説明し、質問及び意見を伺ったところです。

コロナ禍での課題について

村田 俊太郎 議員

問 新型コロナウイルスワクチン集団接種会場での予約の空き状況の確認方法と会場への移動手段、予約日近くになってのお知らせの仕方についてお聞かせください。

答 集団接種会場の空き状況は、インターネット上で随時確認できるよう国によるシステムを活用してまいりたいと考えております。会場への移動手段は、バスの運行を検討しております。予約日近くのお知らせは、メールやLINEにより予約受付したものについては、接種日前に接種日をお知らせするメールの配信が可能となっており、それを活用する予定をしております。電話で予約された方についても、事前に予約日確認の電話をする等の対応を検討しているところです。